



グローバルに通用する英語教授法認定資格のご案内

ケンブリッジ大学英語検定機構では、新任教師の方から経験豊富な英語教師の方まで、英語以外の言語を母語とする英語の学習者を指導する際に自信をもって授業に臨み、英語教師としてファースト・クラスのキャリアを築くための道すじを国際的に認知された英語教授法認定資格を通じてサポートしています。



① 英語教授知識認定テスト(Teaching Knowledge Test:以下、TKT)について

英語教員に求められる言語・教授法の基礎知識を網羅した、受験準備を通じて教員としての自信とスキルが身に付く英国ケンブリッジ大学英語検定機構が開発した知識認定テストです。TESOL（英語を母国語としない人に対する英語教授法を専門的に学ぶ学問分野）の基礎を学びます。

■ TKT のモジュールの種類について

基本 モジュール	モジュール 1	言語教授に関する知識と背景 優れた指導テクニックに必要な知識、学習者の習得過程、言語に関する理解など	80 分 80 問	マーク 式
	モジュール 2	言語教授のための指導案作成 指導案作成に必要な教員の知識やスキル、指導案の指針となる評価や教材等について	80 分 80 問	マーク 式
	モジュール 3	授業マネジメント 英語授業をする際に教師として留意すべき授業マネジメントに関する知識について	80 分 80 問	マーク 式
	プラクティカル (Practical)	英語教師として実践的な指導力が備わっているかどうかを国際的な指標に照らして評価。授業計画、クラス運営、指導力を観察して行う実技テスト	40 分 x 1 回 あるいは 20 分 x	実技 (授業 観察)



専門 モジュール	TKT: CLIL	学習者の母語ではない言語を介して教科を教える アプローチ「CLIL: <u>C</u> ontent and <u>L</u> anguage <u>I</u> ntegrated <u>L</u> earning（内容言語統合型学習）を理 解するテスト	2回 80分 80問	マーク 式
	TKT: KAL	英語指導者の視点から英語の言語システムの知識 と理解度を測るテスト (Knowledge About Language)	80分 80問	マーク 式
	TKT: YL	幼児～小学生 (Young Learners) に英語を教えるの に必要な方法やスキルに関する知識を測るテス ト。小学校英語の指導者に最適。	80分 80問	マーク 式

■TKT 基本モジュール 1, 2, 3 の特徴

歴史	世界的なニーズにより開発され、欧州、アジア、南米の 1, 500 名以上の英語教師の方によるトライアルを経て 2005 年スタート。
取得メリット	英語教員採用や研修対象者選定時のベンチマークとして海外で活用。国際的に認知された資格。より専門性の高い CELTA や Delta 等の TESOL 資格への導入として最適。
作成意図	すべての英語教師に求められる基礎的な知識に焦点を当てた世界標準の認定テスト。国際的に通用する教師としての自信と知識の醸成を狙いとする。
テスト結果 (評価)	合格・不合格ではなく、各モジュールの成績がバンド・スコア 1（限られた知識～バンド・スコア 4（広範な知識）の 4 段階評価で報告される。
受験対象者	英語が母語でない人および英語ネイティブ・スピーカー
英語能力	CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の B1 レベル相当以上 TKT:KAL については B2 レベル以上必要。
試験日	ペーパー版はオン・ダイヤモンドで各認定試験センターによる設定が可能であるため、団体受験の場合は試験日をセンターと協議の上、予めお選びいただくことが可能。

サンプル問題は [こちら](#) から

【参考資料】 [英語教授知識認定テスト 日本語簡易版リーフレット\(4.85MB\)](#)

■評価（バンド・スコア）について

TKT モジュール 1,2,3 のバンド評価基準一覧は [こちら](#) をご覧ください。

TKT プラクティカルのバンド評価基準一覧は [こちら](#) の 66-68 ページをご覧ください。



■ 海外での活用事例

[タイ王国教育省](#)、[ホーチミン市教育・トレーニング省（ベトナム）](#)、[中国河北省](#)、メキシコ教育省、台湾、韓国、その他

② CELTA (Certificate in Teaching English to Speakers of Other Languages) について

英語を母国語としない人に対する英語教授法資格のうち、世界中で広く受験されている TESOL/TEFL のサーティフィケート。英語母語話者または同等の英語力を持つ方を対象とした資格で、最も国際的に知られており、世界中で英語教師として採用される条件に用いられています。英語教授法分野の入門レベルの国際資格です。

英国のプログラムや学位を監査評価する機関の一つ Ofqual (Office of Qualifications and Examinations Regulation) は CELTA を英国の「全国資格フレームワーク」(NQF : National Qualifications Framework) のレベル5 (学術資格のディプロマに相当するレベル) に定めています。1996 年より開始。前身は Preparatory Certificate (1978)、CTEFLA (1983)。

【主な学習内容】

- 学習者と指導者、学習と指導のコンテキスト
- 言語分析および言語意識
- リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4技能評価
- 異なるコンテキストに応じたレッスンプランと教材活用
- 指導力向上とプロ意識

以下の2分野が評価の対象。最終試験はなく、コース中に授業内評価がなされる。ケンブリッジ大学英語検定機構が認定する評価者がそれぞれのコースを監督。CELTA の認定資格を受けるには、2分野ともに合格しなければならない。合格の評価には、Pass(satisfactory)、Pass 'B'(good)、Pass 'A'(excellent) の3種類あり。

1) 授業 (教育実習)

授業は、2つのレベルのクラスを対象に合計6時間授業を実施。6時間の最後の段階で、総合的な指導力の評価が行われる。



2) 筆記課題

4つのトピック（成人の学習、英語の言語体系、言語スキル、授業での指導）に関する課題提出が必要。

【ご参考】世界中多くの教育機関が CELTA コースを提供しています。国別の CELTA センターリストはこちらをご参照ください。

<http://www.teaching-esl-to-adults.com/celta-course-locations.html>

③ Delta (Diploma in Teaching English to Speakers of Other Languages) について

Delta は英語を母国語としない人に対する英語教授の経験を、既に十分お持ちの英語教師の方にとって最適な資格です。専門性をさらに高め、さらに英語教師としてのキャリアを発展させたいとする方のための国際的な資格です。

Delta は 1998 年に開始され、現在の 3 つのモジュール制は 2008 年から導入されました。それぞれ理論と実践に焦点を当てていますが、直接授業の評価を伴うのはモジュール 2 のみです。モジュールは個別に評価され、個別の認定を受けます。3 つすべてのモジュールで合格すれば、完全な Delta 資格が授与されることとなります。

モジュール 1 および 3 については、ケンブリッジ大学英語検定機構が認定する Delta 教授資格センターでコースを受講する必要はなく、独学で試験の準備を進めることが可能です。モジュール 2 については、実際に授業を行っていただき、それが評価の対象となりますので Delta センターでコースを受講する必要があります。通信教育による受講も可能です。

モジュール 1： 言語理解、教授法と授業教材について

評価は 2 パートからなる筆記テストによって行われ、所要時間は各パート 1 時間 30 分で外部評価員が採点にあたる。

モジュール 2： 英語教授の専門性の向上

評価は授業のバックグラウンドを記したエッセイを含む課題と授業観察が対象。

モジュール 3： 実践と英語教授 (ELT) 専門性の深化

評価は 4,000-4,500 語の筆記課題文（論文）を外部評価員が採点。



- 英国の大学で ELT/TESOL の MA (文学修士) や MScs (理学修士) の修士課程の勉強をする際、Delta を取得していれば単位として換算される等の便宜が図られる。
- 英語以外の言語を母語とする学習者への指導において Delta は英国のプログラムや学位を監査評価する機関の Ofqual により、「全国資格フレームワーク」(NQF : National Qualifications Framework) のレベル 7 (学術資格の修士レベルに相当) に定められている。